

# 行政の窓

## 林野庁の平成26年度補正予算・平成27年度当初予算について

平成26年度の林野庁補正予算は、平成27年1月9日に閣議決定され、森林整備加速化・林業再生対策などが実施される予定です。また、平成27年度林野庁予算は平成27年1月14日に閣議決定され、予算額は290,363百万円（対前年度比99.6%）となっています。

戦後造成した人工林が本格的な利用期を迎える中、国では「森林・林業基本計画」に基づく国産材の利用拡大を図るため、木造公共施設や木材加工流通施設の整備、間伐の推進と間伐材の利用促進、さらには、新たな建築材料であるCLTの普及などの取組を進めていくこととしており、道としてもこうした国の政策や予算を活用し、森林資源の循環利用を加速していく考えです。

### 《平成26年度補正予算 主要事項の概要》【川下関連を主とするもの】

事業等名	対策のポイント	政策目標	主な内容
森林整備加速化・林業再生対策 (54,630百万円) ※国全体の概算決定額	地域の創意工夫を活かし、木材の需要拡大、安定的・効率的な地域材の生産・供給体制の構築及び持続的な林業経営の確立に向けた総合的な対策を緊急に支援します。	国産材の供給・利用量の増加 < 2,175万 <sup>m<sup>3</sup></sup> (H25) → 3,900万 <sup>m<sup>3</sup></sup> (H32)>	1.森林整備加速化・林業再生交付金 (1)木造公共施設等の整備 (2)木質バイオマス利用施設等の整備 (3)新規用途の導入促進 (4)木材加工流通施設等の整備 (5)路網の整備 (6)高性能林業機械等の導入 (7)未利用間伐材の利用促進 (8)特用林産物の競争力強化 2.森林整備加速化・林業再生事業
木材需要拡大緊急対策事業 (2,570百万円) ※国全体の概算決定額	木材需要の冷え込みの影響を克服し、林業の成長産業化を実現するため、幅広い分野における総合的な木材需要拡大策を緊急的に支援します。	国産材の供給・利用量の増加 < 2,175万 <sup>m<sup>3</sup></sup> (H25) → 3,900万 <sup>m<sup>3</sup></sup> (H32)>	1.木造住宅等需要拡大支援事業 2.新規木材需要創出事業

### 《平成27年度予算 主要事項の概要》【川下関連を主とするもの】

事業等名	対策のポイント	政策目標	主な内容
新たな木材需要創出総合プロジェクト (1,689百万円) ※国全体の概算決定額	新たな地域材需要の創出のための製品・技術の開発・普及促進や、建築物・木材製品・木質バイオマス等の各分野での木材利用を幅広く拡大するとともに、これらに必要に応える地域材の安定的・効率的な供給体制の構築等を図ります。	○国産材の供給・利用量の増加 < 2,175万 <sup>m<sup>3</sup></sup> (H25) → 3,900万 <sup>m<sup>3</sup></sup> (H32)> ○木質バイオマス利用量の増加 < 121万 <sup>m<sup>3</sup></sup> (H25) → 600万 <sup>m<sup>3</sup></sup> (H32)>	1.CLT(直交集成版)等新たな製品・技術の開発・普及 2.地域材利用促進 3.地域材の安定的・効率的な供給体制の構築 4.森林認証・認証材普及促進対策
森林・林業再生基盤づくり交付金 (2,700百万円) ※国全体の概算決定額	森林の整備・保全の推進、林業・木材産業の健全な発展と木材利用の推進を図るため、高性能林業機械の導入や木造公共建築物の整備等を支援します。	○素材生産量に占める高性能林業機械を使用した生産量の割合の向上 (約5割(H23) → 約7割(H31)) ○木質バイオマス利用量の増加 < 121万 <sup>m<sup>3</sup></sup> (H25) → 600万 <sup>m<sup>3</sup></sup> (H32)>	1.木材利用の拡大 2.木材製品の安定的・効率的な供給体制の構築 3.林業の効率的かつ安定的な経営基盤の確立 4.森林保全の推進等

※詳細については、次の林野庁HPをご参照ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/yosankesan/26hosei.html> (平成26年度補正)

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/yosankesan/27kettei.html> (平成27年度当初)

(水産林務部林務局林業木材課林業木材グループ)